

令和6年度 事業報告書 決算報告書



一般財団法人新庄市スポーツ協会

目 次

1. スポーツ振興事業

《1-1》	スポーツ普及推進事業	(P)
(1)	新庄市総合体育大会	1
(2)	こども・はばたき事業	2
(3)	自主事業の実施	2
(4)	賛助会員（スポーツサポーター）制度	4
(5)	広報事業	4
《1-2》	育成強化、競技力向上に関する事業	
(1)	育成強化事業費交付	5
(2)	育成強化事業	6
(3)	スポーツ少年団育成事業	6
(4)	スポーツ表彰事業	8
《1-3》	新庄サイクルスポーツセンター管理事業	8
《1-4》	最上地区スポーツ協会連絡協議会との共同事業	8

2. 施設管理事業

《2-1》	新庄市スポーツ施設指定管理事業	9
《2-2》	山形県最上中央公園指定管理事業	10
《2-3》	新庄市都市公園管理事業	12
《2-4》	新庄市公有財産管理事業	12

3. 法人管理事業

法人管理事業	12
--------	----

参考資料

○令和6年度役員体制	14
------------	----

一般財団法人新庄市スポーツ協会

令和6年度事業報告書

1. スポーツ振興事業

《1-1》スポーツ普及推進事業

(1) 新庄市総合体育大会

新庄市の委託を受け、新庄市総合体育大会実行委員会を組織し、第46回新庄市総合体育大会を開催した。

開催は、スポーツ協会から実行委員会に委託費全額を交付し、競技団体とスポーツ協会が6月から2月までに13競技で計画・実施した。

参加者の状況は、選手1,278人(前年度1,206名:72人増)、審判役員317人(前年度318人:1人減)、参加者総数1,595人(1,524人:71人増)となった。

競技種目	開催期日	会場	参加選手数
合気道	R6.6.8	新庄市武道館	76人
バレーボール	R6.9.1	新庄市体育館	130人
野球	R6.8.17	新庄市民球場	74人
柔道	R6.9.16	新庄市武道館	57人
バドミントン	R6.10.6	新庄市体育館	139人
ソフトボール	R6.10.6	福田運動広場	27人
空手道	R6.10.13	山屋セミナーハウス	46人
剣道	R6.10.14	日新小体育館	57人
ソフトテニス	R6.10.5 中学校 R6.10.19 小学校 R6.10.20 高校 R6.12.1 一般	真室川町民テニスコート 新庄市テニスコート 新庄中テニスコート 新庄市体育館	139人
弓道	R6.10.14	新庄市武道館弓道場	54人
卓球	R6.11.17	新庄市体育館	110人
バスケットボール	R7.2.1 R7.2.2	萩野学園体育館	168人
サッカー (フットサル)	R6.7.15 U12 U10 R6.12.8 U12 U10 R7.2.15 フット	鮭川村人工芝グラウンド すぽーていあ 新庄市体育館	201人

選手計1,278人

◇要した経費 新庄市総合体育大会実行委員会負担金 915千円

《成果等》

- ・熱中症対策等を講じながら13競技種目で実施することができた。参加者総数については、1,595人で令和5年度と比べ71人増え、幅広い年代の参加者が競い合う機会を提供できた。

(2) こども・はばたき事業

■ 幼児期からのACPの推進

子供の体力低下や運動離れは全国的に大きな課題となっている中、新庄市スポーツ協会は、子どもの時期によく遊び、よく運動し、いろいろな体の動かし方を身につけ、汗をかくことの爽快感を感じ取ることが、生涯を通じて運動を取り入れた健康的な生活に繋がると考え、アクティブ・チャイルド・プラン=ACPに取り組んでいます。

■ はばたきクラブ

日頃運動する機会の少ない子供（スポーツ少年団未加入者等）を対象に、平成29年度から日新小学校に「日新はばたきクラブ」を立ち上げ、また、令和3年度から新庄小学校に「新庄はばたきクラブ」を立ち上げて活動している。令和5年度より、これまでの3・4年生までの対象範囲を5・6年生までに広げて実施した。令和6年度は授業カリキュラム上の都合で日新は休止となった。

クラブの活動は、「走る・飛ぶ・投げる」を中心にした遊びで、2週に1回、1回90分程度、思いっきり体を動かす楽しさを感じてもらう事を主眼に実施した。児童は、毎回夢中になって遊び、運動し、次を楽しみにしており、貴重な運動の機会を提供できた。また、新庄市並びに市スポーツ指導員・外部指導員の方から協力を頂き、活動を支えていただいた。

[活動概要]

- | | |
|---------|--|
| ①クラブ会員数 | 新庄はばたきクラブ17名 |
| ②入会費 | 2,000円 : 月会費(7カ月) 300円 |
| ③活動日程 | 通常活動: 6月~2月:(火曜日)計15回
親子行事: 9月28日(土)・2月22日(土) 計2回 |
| ④指導 | 今田康平氏(リンクス) |



《成果等》

・参加児童から活動日を心待ちにしているとの声を多く聞くことができ、また、父兄にも親子行事を通じて運動の場を提供できた。また、指導面ではACPの訓練を積んだ職員の他、外部指導員の協力体制をとることができ、更なる活動の充実に展望を持つことができた。

学校の授業カリキュラムが変更となり、条件が合わず日新小学校は休止となった。

◇要した経費 はばたき事業 125千円(受取会費合計 69千円)

(3) 自主事業の実施

① ステップ体操

- | | |
|----|---|
| 目的 | 軽運動を通じて日常動作の維持改善や元気の向上を図る。 |
| 内容 | 令和6年4月~3月の間で、インストラクターを迎え、音楽リズムに合わせて11cm高のステップ台の昇降運動を行う。
月曜日コース 18:00~19:00 会員9名 全40回実施
水曜日コース 17:00~18:00 会員2名 全51回実施
月・水曜日コース 会員5名 全91回実施 |

講師 インストラクター: 健康運動指導士 沓澤保代氏

参加者 40代~70代の男女 延べ752人参加

参加費 年会費(入会費)2,000円 月会費1コース2,500円、2コース3,500円

成果等 口こみや体験等により大変盛況で入会者が増え、会場を市民プラザに移した。足が動くようになった。体力がついた。骨密度の数値が非常に良くなった。姿勢が良くなった。等々多くのうれしい言葉が集った。



② チェアピクス

目的 足腰に不安のある方でも、イスに座ってできる運動。体力・元気の向上を図る。

内容 令和6年4月～3月の間で、インストラクターを迎え、
イスに座って、音楽に合わせて体を動かす。

毎週木曜日 10:00～11:00 全51回実施

講師 インストラクター：健康運動指導士 沓澤保代 氏

参加者 70代～80代の女性 延べ397人参加

参加費 年会費（入会費）2,000円 月会費1,500円

成果等 昨年に引き続き楽しいと継続加入の方が多く、更に検診の結果も良くなったと好評で参加率も高かった。



③ エアバレーGAME in新庄

目的 働きざかり、子育て世代を中心に、思いっきり体を動かす機会を提供し、仲間とともに体を動かす楽しさ、爽快感を感じて、心身の健康増進を目的に実施した。

内容 ビニールボールを使用したバレーボール形式のゲームを実施。ハロウィンの仮装参加を促し、「楽しむ」運動を第一に時間短縮を図って実施した。

期日場所 令和6年10月27日（日）：市体育館 参加者 7チーム：47人



成果等 参加団体数、参加人数が前年度を下回る結果となったが、市スポーツ推進員の協力を得スムーズな大会運営ができた。年々参加チーム、参加者数が減少しており、30代、40代の参加しやすい日程、大会運営にする必要がある。

④ キッズサッカーフェスティバル

目的 新庄地区サッカー協会キッズ委員会と協働し、幼児を対象にサッカーを通じて体を動かす機会を提供し、その楽しさを伝え、心身の健康増進を目的に実施した。

内容 ミニコートで5分間のミニゲームを実施。

期日場所 令和6年10月25日（金）：新庄市陸上競技場

参加者 中部保育所、はぐくみ保育園、にこにこ東園、なかよし保育園、鮭川保育所、パリス幼稚園、新庄保育園、舟形ほほえみ保育所、最上あたご保育園、最上大堀保育所から208名

成果等 終始笑顔で元気にフィールドを駆け回り、サッカーの魅力に触れてもらった。また、父兄・祖父母の見学者も多くあり、親子ともども楽しめる事業となった。

⑤ 健康ウォーキング 健康の維持増進を目的に、ウォーキングが習慣となるよう「ウォーキング日誌」を体育施設や他の市施設に配置し、取組んだ市民が自ら設定した目標歩数、年間50万歩から200万歩の目標達成者13名に認定証を交付した。

・完歩達成者（認定者） (H29)16人 (H30)13人 (R元)14人 (R2)11人 (R3)10人
(R4)11人 (R5)12人 (R6)13人

⑥ あべじゅ～体操

50歳以上を対象に、「あべじゅ～体操」として介護予防を目的に考案された「いきいき百歳体操」と「かみかみ百歳体操」を4月から通年、毎週月・木曜日に実施した。

実施回数 月曜日41回、木曜日49回・参加者数 延べ639人
一回平均参加人数 月曜日12人、木曜日3人

内容 いきいき百歳体操40分：かみかみ百歳体操40分
体力測定1回（10月7日）

成果等 参加者が、集まってする体操を楽しみにしていると好評であり、体力測定で体力を確認しながら体を動かす機会を提供でき、ニーズが高い。



⑦ 武道フェスティバル

目的 武道館の利活用向上と武道の底辺拡大を図る。
 内容 柔道・剣道・空手道・弓道・合気道の5団体が一堂に会し、演武や実技指導など行った。



期日場所 令和6年11月4日(月):新庄市体育館・武道館

参加者 約300人

成果等 今年度初めての企画であったが、思った以上の参加者を得ることができた。但し、周知不足もあり内々になった感は否めず、次年度以降広く市民へPRする必要がある。

⑧ マジカルスノーランド

目的 冬こもりがちな子供の遊び場提供することで市民スキー場の更なる利用促進を図る。

内容 小学生低学年以下を対象に雪中宝さがしなどの雪遊びを実施

期日場所 令和7年2月26日(日):新庄市民スキー場

参加者 約180人

成果等 多くの親子連れでにぎわうイベントで好評を得られた。
 スキー場を会場に「雪遊び」で思いっきり体を動かす機会を提供できた。

※ 実施できなかった事業・イベント

・杳蔵登山体験ツアー(豪雨による登山道不良のため中止となった。)

◇市民スポーツ事業に要した経費 963千円

(4) 賛助会員(スポーツサポーター)制度

令和6年度は、51の団体・個人から134口・134,000円の会費収入があった。会費は、ACP事業(はばたきクラブ)、広報紙の作成経費に充当した。収支決算は以下のとおり。
 収入276,213円—支出130,000円=146,213円・・・令和7年度に繰り越す。

収 入		支 出		
受取会費	134,000円	広報事業	印刷製本費(8月号/10月号)	80,000円
繰越金	142,090円	ACP事業	はばたきクラブ	50,000円
利息	123円			
収入合計	276,213円	支出合計		130,000円

(5) 広報事業

協会広報誌「SPORTS SHINJO」は5回発行した。わかりやすく、簡便な記事にして、興味を持ってもらえることを目標に発行した。「伝わる情報」の発信を基本に、表彰受賞者や競技スポーツ・軽スポーツに取組む多くの市民を紹介した。

《成果と課題》

「伝わる情報」の発信を基本に取り組んだが、より多くの市民に見てもらえる、身近でいきいきとした情報の提供になお一層工夫する必要がある。

	発行年月	記事内容
No.47	令和6年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団結団式 ・スポーツ施設受付窓口案内 ・スポーツ協会年間予定表 ・市民プールオープン日のお知らせ ・令和5年度賛助会収支決算報告



No.48	令和6年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会「新役員」体制 ・インターハイ出場者紹介（21名）、決意表明（2名） ・利用団体紹介（空手道崇武館新庄支部） ・スポーツ協会事業イベント開催案内 ・市民プール営業日、料金案内 ・賛助会員募集 ・第46回新庄市総合体育大会日程 	
No.49	令和6年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀国民スポーツ大会出場選手紹介（7選手） ・利用団体紹介（SMAC） ・特集：体育施設管理（陸上競技場編） ・賛助会員加入状況・加入者紹介 ・スポーツ協会の事業紹介 	
No.50	令和6年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スキー場営業PR・料金表 ・スポーツ協会事業イベントの報告 キッズサッカーフェスティバル、家族ではばたき、 2024エアバレーGAME in 新庄、タグラグビー、 2WAY リース WORK SHOP 	
No.51	令和7年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・新庄市・スポーツ協会体育表彰式 ・受賞者紹介（68名、7団体） ・令和6年度新庄市総合体育大会結果 ・健康ウォーキング参加者のひと言紹介 ・マジカルスノーランド ・協会からのお知らせ（利用料金改定・賛助会員） 	

◇広報事業に要した経費 489千円

《1-2》育成強化、競技力向上に関する事業

（1）育成強化事業費交付

令和6年度は、競技団体10・学校体育団体2の計12団体に対し育成強化事業費を交付した。熱中症対策等を取りながらほぼ計画通り実施できた。

競技種目名	交付決定額	返還額	交付確定額	強化事業実施の状況（報告より）
空手道	150,000	0	150,000	講習会／強化育成練習会
剣道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／審判講習会
弓道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／指導者講習会／弓道体験教室
柔道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／審判・指導者講習会
サッカー	150,000	0	150,000	普及・指導者養成／強化育成練習会
スキー	150,000	0	150,000	バッジテスト／ジュニアレッスン／教職員ワンコインレッスン／市内小学校スキー授業支援
自転車	150,000	0	150,000	強化育成練習会
バドミントン	150,000	0	150,000	強化育成練習会
ソフトテニス	150,000	0	150,000	講習会／強化育成練習会
バレーボール	150,000	0	150,000	普及・指導者養成
小体連	110,000	0	110,000	陸上競技記録会
中体連	150,000	0	150,000	強化育成練習会（バスケ・バドミントン）
計	1,760,000	0	1,760,000	

◇競技団体育成強化事業費交付に要した経費 1,764千円（事務費4千円含む）

(2) 育成強化事業

①野球教室

- 目的 元プロ野球選手とふれあい、夢と希望を抱きながら、
トップアスリートの直接指導により野球技術の向上を図る。
- 内容 最上地区スポーツ協会連絡協議会との共同事業として、
楽天ゴールデンイーグルス二軍内野守備走塁コーチの奥村展征^{のぶゆき}氏を講師に迎え、
守備及び打撃の実技指導を受けた。
- 期日場所 令和6年12月8日(土)：新庄市民球場(屋内練習場)
- 参加者 最上郡内スポーツ少年団 11団体 総勢131名
- 成果等 捕球時の姿勢やグローブの向き、送球時に方向を定めるために肩の向きなど、細かい動作など本格的なアドバイスをいただき、実践的なプレーを学べた。



②出前講習

- 目的 手軽にトレーニング技術を習得できるように部活等に指導者を派遣した。
- 実施内容 ライン(ゴム状の帯)を使って音楽に合わせたトレーニング
- 実施回数 6回(明倫学園、金山スポーツクラブ、新北テニス、
新庄ビクトリーパワーズ)
- 指導者 一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会認定普及員
- 成果等 更なる拡充のため、学校関係等にも案内。体験者には、
大変喜ばれたが継続につながる活動が必要である。



◇育成強化事業費に要した経費1,889千円(団体育成強化事業費交付1,764千円を含む)

《成果と課題》

- ・計画した12団体に強化事業費を交付した他、交付先はほぼ計画通りに実施できた。また、実績のある外部講師を迎えた強化育成に取り組み、モチベーションアップ、スキルアップに役立てられた。一方で、少子化による競技人口の減少などの課題があげられる。

(3) スポーツ少年団育成事業

《会議》

① 本部員会の開催

- 第1回 7月17日(令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算)
- 第2回 3月26日(令和6年度事業報告、令和7年度事業計画)

② 正副本部長会議(運営員会合同会議)

- 第1回 7月10日(県スポーツ少年大会、令和6年度事業計画・予算)
- 第2回 10月23日(指導者・育成母集団研修会、令和6年度登録状況)
- 第3回 12月18日(指導者・育成母集団研修会、令和7年度結団式)
- 第4回 2月12日(指導者・育成母集団研修会、本部員会)
- 第5回 3月18日(本部員会、指導者協議会、令和7年度結団式、役員改選)

◇年度別登録状況

(単位：人)

			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
単位団			32団	32団	31団	27団	25団
団 員	小学生	男	292	300	308	269	239
		女	167	184	177	174	178
		計	459	484	485	443	417
	中学生	男	42	60	35	38	39
		女	44	48	44	44	25
		計	86	108	79	82	64
	高校生	男	1	1	0	0	0
		女	1	1	1	0	0
		計	2	2	1	0	0
計			547	595	565	525	※482

指導者	指導者（有資格者）	126	115	104	96	90
	役員	13	12	11	13	12
	スタッフ	36	38	46	29	33
	計	175	165	161	138	135

※R6の団員数計は幼児1人を含む

令和6年度競技種目別登録団

1. バスケットボール（6団・138人）
 - ①萩野ミックスビッキーズミニバスケットボール
 - ②日新ミニバスケットボール
 - ③LITTLE RABBITS INSPIRE
 - ④Blitz next
 - ⑤NEW DIRECTIONS
 - ⑥沼北ライジングスターズ
2. 軟式野球（4団・76人）
 - ①日新レッドスターズ
 - ②新庄ビクトリーパワーズ
 - ③萩野フルスインクス
 - ④明倫グリーンベレーズ
3. ソフトテニス（1団・45人）
 - ①新庄ジュニアソフトテニス
4. 柔道（4団・38人）
 - ①日新柔道
 - ②新庄地区柔剣道錬成会（剣道と重複）
 - ③山科道場
 - ④神室柔道
5. バドミントン（3団・53人）
 - ①沼田バドミントン
 - ②日新バドミントン
 - ③奥羽ジュニアバドミントンクラブ
6. サッカー（2団・41人）
 - ①泉田サッカー
 - ②日新サッカー
7. バレーボール（1団・15人）
 - ①日新白鳩バレーボール
8. 剣道（2団・32人）
 - ① 新庄地区柔剣道錬成会（柔道と重複）
 - ②東山錬成会
9. 空手道（2団・26人）
 - ①新庄市空手道
 - ②萩野空手道
10. 陸上（1団・18人）
 - ①SMAC

〈行事〉

- ① 新庄市スポーツ少年団結団式及び地域貢献活動「スポGOMI in 新庄」4月27日（土）
 - ・新庄市スポーツ少年団結団式：18団・241名が参加。
 - ・スポGOMI in 新庄：67チーム・320名が参加。
 - ② スポーツ少年団育成助成金：アランマーレ山形バレーボールクリニック 2024に運営協力費 10,000円
 - ③ 山形県少年少女スポーツ交流大会：10月6日を基準日として各競技が開催された。
8競技26チーム189名が参加。
 - ④ 山形県スポーツ少年大会：7月27日（土）～29日（月）山屋セミナーハウス⇒豪雨により中止
 - ⑤ 指導者・育成母集団研修会：11月17日（日）市民プラザ 役員含む15名が参加。
 - ⑥ 新庄市スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会（対面形式で実施）
 - 会 場：新庄市民プラザ3階小ホール
 - 講 演：「スポーツ活動に励む児童の口腔外傷予防について」マウスガードの可能性～
 - 講 師：齋藤裕太氏（さいとう歯科医院院長、山形県スポーツ協会医科学委員）
 - 受講者数 女性19名 男性17名 計36名
- ◇スポーツ少年団事業に要した経費 684千円
 （内訳） 山形県本部登録料485千円／県交流大会72千円／講習会費（育成母集団）61千円／県スポ少最上地区協議会負担金24千円／諸会議・交流会11千円／事務費31千円

《成果と課題》 団数についてはバドミントン1団・サッカー1団の計2団が減少し、団員数は43名減少の482名となった。生徒児童数の減少が主な要因と思われるが、その中で団員数を増やす団があり、その取り組みを参考にしたい。またその一方では、クラブ化活動が増えている。今後は新たに指導者を目指す方へのPRを推進し、指導者確保にも努めていきたい。

(4) スポーツ表彰事業

表彰規程に基づき、新庄市と合同で次のとおり開催した。

〔日 時〕 令和7年2月15日(土)・午前10時

〔場 所〕 新庄市民プラザ大ホール

〔表 彰〕

特別表彰1名

：星川俊輔(新庄東高等学校1年)

【JOC ジュニアオリンピックカップ第18回U18陸上競技大会 砲丸投第1位】

スポーツ振興功労賞7名

：今田 均(新庄地区陸上競技協会)

：高山義紀(新庄地区ソフトテニス連盟)

：土田 稔(合気道新庄道場)

：矢口敬治(新庄市スポーツ協会 役員)

：大場和夫(新庄市スポーツ協会 役員)

：壹谷 操(新庄市スポーツ協会 役員)

：安彦隆一(新庄市スポーツ協会 役員)



殊 勲 賞 25名 (一般・大学生4・高校生19・中学生2)

5団体 (一般2・高校生2・中学生1)

飛 翔 賞 35名 (高校生4・中学生5・小学生26)

2団体 (高校生1・小学生1)

◇表彰事業に要した経費 236千円(内報償費215千円)

《成果と課題》 被表彰者の対象が年々減少傾向にあるが、父兄の前で選手を顕彰することができた。顕彰することで少しでも競技者の励みに繋がれば有意義である。今年各団体において永年にわたり役職につき、本市のスポーツ振興で功績のあった7名にスポーツ振興功労賞を授与することができた。また、昨年に引き続き全国大会で優秀な成績を収めた1名を特別表彰することができた。

《1-3》新庄サイクルスポーツセンター管理事業

令和6年度は、環境維持の作業としてフェンスの蔦除去、草刈を行った。また、3.11東日本大震災で生じたバンクの亀裂の状況確認を行い、昨年と変わらない状況を確認した。

《1-4》最上地区スポーツ協会連絡協議会との共同事業

○野球教室 最上郡内スポーツ少年団11団体、総勢131名参加。

○Run Run Run 北辰屋内運動場にて小学生14名参加。

2. 施設管理事業

《2-1》新庄市スポーツ施設指定管理事業

1. 新庄市の指定管理者として、次の10のスポーツ施設を管理運営した。

単位：人、円

施設名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
体育館	利用人数	28,778	29,549	34,604	37,815
	料金収入	1,139,460	1,109,130	1,082,400	1,530,030
市民球場	利用人数	26,428	30,779	26,693	27,411
	料金収入	1,172,920	1,289,590	1,217,740	1,175,430
武道館	利用人数	10,657	11,336	12,513	12,198
	料金収入	697,245	803,880	808,095	819,985
陸上競技場	利用人数	14,997	14,426	16,192	13,650
	料金収入	253,725	224,975	223,275	201,625
東山テニスコート	利用人数	14,873	14,965	11,809	8,932
	料金収入	1,068,930	1,091,720	1,051,930	1,074,860
福田テニスコート	利用人数	64	53	29	63
	料金収入	5,200	5,800	2,200	7,200
福田運動広場	利用人数	1,983	2,065	1,272	1,114
	料金収入	33,360	32,100	33,400	35,950
横根山運動広場	利用人数	529	179		
	料金収入	3,000	1,500		
市民プール	利用人数	2,839	1,715	3,901	4,082
	料金収入	148,320	99,200	232,480	231,840
市民スキー場	利用人数	11,543	10,936	2,414	10,767
	料金収入	4,452,150	3,959,750	723,460	3,926,140
北辰屋内運動場	利用人数		3,551	4,896	5,949
	料金収入		45,000	36,360	63,540
総計	利用人数	112,691	119,554	114,323	121,981
	料金収入	8,974,310	8,662,645	5,411,340	9,066,600

(利用増減)

利用者については、ほぼ利用申請のとおり使用され利用者数全体では、前年度を上回った。利用料金についても前年度を大きく上回った。特に影響が大きい理由として、市民プールで真夏日が続いたことや、市民スキー場ではシーズンを通しフルで営業することができたことから前年度を大きく上回った。

○利用人数 令和5年度比7,658人、6.7%の増で総利用者は121,981人となった。

その中で、体育館、市民球場、福田テニスコート、市民プール、市民スキー場、北辰屋内運動場は増加となった。特に市民スキー場は、営業期間中一日も休むことなく営業することができ、令和5年度比6,866人の増加となった。反対に武道館、陸上競技場、東山テニスコート、福田運動広場は減少となった。特に陸上競技場は、中体連の秋の大会がなくなった他、高校の部活動の利用が減ったことにより、令和5年度比▲2,542人、15.7%の減少となった。

○利用料金 令和5年度比3,655千円、67.5%の増収となった。利用料金で大きく増加した理由は、上記に記載のとおり、スキー場の営業期間によるものが影響したものと言える。また体育館は、447千円の増加となったが、他の施設は、ほぼ昨年並みであった。

市スポーツ施設指定管理の全体収支は以下のとおり。

収 入		支 出	
指定管理料収入	108,436 千円	施設管理経費	114,588 千円
利用料金収入ほか	11,681 千円		
【収入合計】	120,117 千円	収支差引	5,529 千円

2. 指定管理業務の主な業務

- ①施設の使用許可、取消し、その他使用に関する業務
- ②利用料金の徴収、還付、減免に関する業務
- ③使用者の利用調整に関する業務
- ④使用者の安全確保に関する業務
- ⑤施設使用案内、業務の周知等、施設の使用促進に関する業務
- ⑥施設使用に関する統計記録事務
- ⑦施設並びに設備及び備品の維持管理・運営に関する業務
- ⑧行為の許可、使用の禁止または制限に関する業務

3. 施設管理にあたっては、特に次の点を重視した。

- 各施設年2回の使用調整会議等を行い、使用団体の事前希望をもとに案を示し、各施設の使用を円滑に調整するとともに、利用団体の声を聴取した。
- 多くの施設が経年劣化などのため修繕すべき個所を抱えている状況にあり、定期的な点検を実施後市に報告し、必要な注意表示など利用者の安全確保に配慮した。
- 災害・事故発生時に的確に対応できるようマニュアルを作成し、日常業務におけるヒヤリ・ハット情報を職員間で共有し、事故防止に努めた。
- 熱中症対策では、教育委員会通知を基本に、日々の暑さ指数を確認するとともに利用者への注意喚起を行った。
- 施設利用者の要望・意見・苦情には、必要に応じて市の助言を得ながら誠実に対応した。
- 施設内はもちろん建物周辺の環境整備に努め、利用者が気持ちよく利用できるよう努めた。
- 来客や施設利用者には、正確で分かり易い説明、誠実、丁寧な対応を職員全員が心掛けた。

《2-2》 山形県最上中央公園指定管理事業

1. 平成27年度から令和6年度までの10年間を山形県の指定管理者として最上中央公園（すば一ていあ含む）を適切に管理した。特に、熱中症対策や遊具の危険個所の点検に留意して、利用者の安全確保、利用者の利便増進に努めた。

◇すば一ていあ利用状況・指定管理概要（利用人数は有料施設利用者のみ）

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用人数	14,439	15,773	15,633	12,686
料金収入	2,574,912	3,020,060	3,032,592	2,854,489
指定管理料	21,115,000	21,115,000	21,560,000	21,115,000
その他の収入	489,909	582,543	564,802	858,114
収入合計	24,179,821	24,717,603	25,157,394	24,827,603
管理経費	25,068,061	26,308,041	25,316,746	26,219,484
収支差引残	▲888,240	▲1,590,438	▲159,352	▲1,391,881

利用人数）令和6年度は、前年度比▲18.9%・2,765人減となった。例年と比べ大きなイベントや各種大会などの開催が少なく、総利用者は12,686人であった。

利用料金) 利用料金の状況は、令和5年度比で5.9%、178千円の減収となった。これは、昨年度に比べ大きな大会や集会等が減少したことによる。

管理経費) 人件費(給与・法定福利含む。)103千円、委託費1,215千円が増となった。その他の支出については、ほぼ令和5年度並みの執行となった。

収 支) 令和5年度の支出超過が159千円であったのに対し、令和6年度では、労務単価が上がったことにより業務委託料が大きく増加したため、1,392千円の支出超過となってしまった。

2. 自主事業

■ スポGOMI in 新庄大会

〔日時〕 4月27日(土)

〔参加〕 67チーム・320名



■ 花と緑のまちづくり「せせらぎ花壇」植栽事業

〔日時〕 5月26日(日) 8:30~

〔場所〕 最上中央公園「せせらぎ花壇」

〔参加〕 参加団体19 参加者数 約100名

〔内容〕 市民に憩いの場を提供する目的で、約70㎡の花壇へ植栽を行った。



■ 寄せ植え講習会

〔日時〕 6月1日(土) 10:00~12:00 〔場所〕 最上中央公園「すぽーていあ」

〔内容〕 花の寄せ植え講習会

〔講師〕 戎野 日出男(山形市:花のひこうき)〔参加数〕 14名

〔成果等〕 先生とのトークを楽しみながら個性ある作品が出来上がり、楽しい時間となり高評価を得られた。

■ タグラグビーをやってみよう

〔日時〕 11月2日(土)・30日(土) 9:00~11:00

〔場所〕 最上中央公園芝生・「すぽーていあ」

〔内容〕 ボール渡し等による体の動き・タグ取りゲーム

〔講師〕 新庄地区ラグビーフットボール協会

〔参加数〕 合計25名

〔成果等〕 鬼ごっこ中心の運動内容で、参加者から楽しかったとの感想であった。



■ 2WAYリースWORKSHOP

〔日時〕 11月23日(土) 10:00~12:00

〔場所〕 最上中央公園芝生・「すぽーていあ」

〔内容〕 クリスマス・お正月の2通り楽しめるリースの作成

〔講師〕 「ハンドメイドクラフト作家」井上圭子氏

〔参加数〕 合計10名

〔成果等〕 少人数ではあったが、いろいろなアレンジができるという所で、子供からお年寄りまで幅広い層に楽しんでいただけた。



3. 他団体への協力

① 第54回新庄雪まつり

親しまれる最上中央公園のPRを兼ね、主催者の協力団体として会場管理に携わった。

実施日 令和7年2月8日~9日

場所 最上中央公園

主催者 新庄青年会議所

入場者 約6,000人(主催者発表)

《2-3》新庄市都市公園管理事業

新庄市から委託を受け、次の40カ所の都市公園と緑地を適切に管理した。

最上公園 東山公園 歴史センター脇広場 八幡公園 福田緑地 中央公園
金沢公園 末広公園 足達前公園 常葉町公園 谷地田公園 下田公園 中道公園
千門町公園 沼田公園 中の川公園 金沢東公園 小檜室1号公園 小檜室2号公園
横町緑地 玉の木緑地 上金沢緑地 往還東緑地 横根山工業団地緑地 新町緑地
新田川河川公園 駅前ふれあい広場 駅東口交通広場 泉田川河川公園 西山河川広場
仲山町緑地 清水川緑地①② 宮内町緑地 千門町緑地 松本緑地 前野緑地
駅前交番前 宮内新町緑地 トウメキ緑地 松本ふれあい公園

業務内容

- ① 公園・便所掃除、パトロール、遊具点検、噴水池清掃、早朝作業：公園30カ所
- ② 園内草刈り、法面草刈り：公園・緑地37カ所
- ③ 雪囲い設置・撤去（東屋、照明、樹木）、遊具設置・撤去：公園・緑地25カ所
- ④ 雪下ろし（便所、遊具、東屋、藤棚、駅東口アーケード）：公園24カ所
- ⑤ 害虫駆除、樹木・あじさいの剪定：公園21カ所
- ⑥ 砂場掘り起し：公園5カ所
- ⑦ 消雪設備水抜き：1カ所

◇都市公園管理事業に要した経費 18,565千円

《2-4》新庄市公有財産管理事業

- 1) 新庄市の委託を受け、3カ所の新庄市公有財産を適切に管理した。

仁間処理場跡地、ポリテクセンター跡地、萩野児童館跡地

- 2) 人工芝テニスコート整備業務

(萩野学園・新中・日新中を年2回)

◇公有財産管理事業に要した経費 2,067千円

3. 法人管理事業

平成24年4月、新しい公益法人制度における一般財団法人となり、令和6年度も、定款に定める「スポーツを通じた豊かな市民生活の形成に寄与する」との組織理念に即し、スポーツ振興とスポーツ施設管理を一体のものとして、役職員が一丸となって適正かつ効率的に運営した。

① 会議の開催

《理事会》5月23日・6月20日・11月28日・3月19日（4回）

《定時評議員会》6月20日

《評議員選定委員会》5月29日

《スポーツ表彰選考委員会》1月15日

《スポーツ少年団本部員会》7月17日・3月26日

《強化事業費交付審査会》5月15日・6月4日

《三役会議》5月15日・6月4日・11月12日・12月25日・2月12日・3月11日
(6回)

② 評議員の選任

任期満了により5月の評議員選定委員会において19名（再任15名、新任4名）が選任された。

③ 理事の選任及び役員体制

任期満了により6月の定時評議員会において理事15名（再任14名、新任1名）、監事2名（再任2名）が選任された。

また、役員改選にあたり、臨時理事会において会長 山科通、副会長 吉浦一幸が再任され、欠員副会長には野崎勉が新任された。また、専務理事は荒澤精也が再任され、監事2名は高橋敏彦、吉田浩志がそれぞれ再任された。

④ 熱中症対策の対応

各施設へ判断基準を掲示するとともに注意喚起を行い、熱中症対策の徹底を図った。

⑤ 諸規程の整備

◎定款の一部改正 4件

- ・事務処理規程の設置（1件）、臨時職員に関する規程の一部改正（1件）、給与規程の一部改正（2件）

⑥ 経理

随時、公認会計士の指導を得て適正に予算を執行し、及び財産を管理に努めた。また、施設使用料など公金取り扱いは、処理手順の厳守、預金通帳・公印保管の徹底など適正管理に努めた。

⑦ 特定資産管理

- (1) スポーツ振興基金の活用を行わず、運用益 117 円を基金の設置及び管理に関する規程第4条に基づき繰り入れた。

法人運営基金は、取り崩しはなく、運用益 288 円を基金の設置及び管理に関する規程第4条に基づき繰り入れた。

- ・スポーツ振興基金 6, 849, 454円（前期末比 117円増）
- ・法人運営基金 16, 872, 444円（前期末比 288円増）

- (2) その他の特定資産

退職手当引当資産

職員の退職金支払に備えるため、積み立て管理している。職員の退職金の資金は、職員の退職金に関する規程第5条第1項により加入している中小企業退職金共済制度の給付額と、当該給付額で不足する額を退職手当引当資産から補てんし、規定額を給付する。

令和6年度は、運用益で106円増となる。

- ・退職給付引当資産 6, 196, 906円（前期末比 106円増）

- (3) その他固定資産

建物、構築物は、サイクルスポーツセンターの廃止による有姿除却により備忘価格（残存価格12円）のみの額となった。また、既存の車両、什器備品等を減価償却した結果、前期末残高と比較し690,921円減少した。

以上により、その他固定資産の合計価格は以下のとおり。

- ・その他固定資産 589, 916円（前期末比 690, 921円減）

令和6年度 役員体制(令和6年6月20日現在)

理事 15人 任期：令和6年定時評議員会終結日～令和8年定時評議員会終結日

	役職	氏名	選出元団体・役職
1	会長	山科通	新庄地区バレーボール協会会長
2	副会長	吉浦一幸	新庄市スポーツ少年団運営委員
3	副会長	野崎勉	新庄市スポーツ協会(学経)
4	専務理事	荒澤精也	新庄市スポーツ協会(学経)
5	理事	森正一	新庄市スキー連盟副会長
6	理事	伊藤好之	新庄市柔道連盟会長
7	理事	阿部稔	新庄地区野球連盟副会長
8	理事	井上勝人	新庄地区サッカー協会事務局長
9	理事	齋藤和彦	新庄地区バドミントン協会事務局長
10	理事	八鍬博幸	新庄ボクシング協会理事長
11	理事	高橋研	新庄地区陸上競技協会副会長
12	理事	竹内憲	新庄弓道連盟会長
13	理事	佐々木養記	新庄地区卓球協会会長
14	理事	津藤弘	新庄市バスケットボール協会会長
15	理事	伊藤圭一	新庄市空手道連盟常任理事

監事 2人 任期：令和6年定時評議員会終結日～令和8年定時評議員会終結日

1	監事	高橋敏彦	新庄地区ソフトテニス連盟副会長
2	監事	吉田浩志	新庄地区自転車競技連盟事務局長

評議員 19人 任期：令和6年定時評議員会終結日～令和10年定時評議員会終結日

区分		氏名	選出元団体・役職
スポーツ協会加盟競技団体	1	星川清昭	新庄地区野球連盟記録部長
	2	高階寿子	新庄地区ソフトテニス連盟副会長
	3	今田幸広	新庄地区自転車競技連盟監事
	4	阿部太悦	新庄ボクシング協会事務局長
	5	阿部文男	新庄弓道連盟副会長
	6	小国由美	新庄地区剣道連盟理事
	7	齊木直利	新庄市柔道連盟事務局長
	8	斎藤秀二	新庄市スキー連盟会長
	9	丹忠一	新庄地区陸上競技協会理事長
	10	奥山貴裕	新庄地区バドミントン協会競技部長
	11	小森卓	新庄地区卓球協会理事長兼事務局長
	12	矢口一郎	新庄地区ソフトボール協会審判部長
	13	田中幸一	合気道新庄道場副道場長
	14	佐藤宏	新庄市空手道連盟事務局長
地域団体	15	森富喜子	新庄市スポーツ推進委員協議会副会長
	16	元木真澄	新庄市スポーツ少年団本部長
学校団体	17	鈴木英樹	新庄市中学校体育連盟会長
	18	浅井純	新庄市小学校体育連盟会長
学経	19	佐藤朋子	新庄市健康推進担当課長

令和6年度決算報告書

《決算資料》

令和6年度決算概要

正味財産増減計算書

貸借対照表

財務諸表に対する注記

財産目録

一般財団法人新庄市スポーツ協会

令和6年度決算報告概要

〈概況〉

一般正味財産の経常収益は、183,667千円で令和5年度比10,710千円・6.2%の増収となり、経常費用は182,910千円で11,381千円・6.6%の増加となった。この結果、一般正味財産増減額は757千円となった。

また、基本財産に増減は無く当期末残高は15,000千円となった。特定資産（基金等）のうち、退職給付引当資産は、退職者がいなかったため、運用益106円で期末残高が6,197千円となった。スポーツ振興基金は運用益117円で6,849千円となった。法人運営基金は運用益288円で16,872千円とし、特定資産合計額は29,919千円となった。

その他固定資産の合計は、1,033千円を減価償却し、期末残高600千円となった。

〈経常収益〉

経常収益の主な内容で、まず受託事業収益（都市公園管理等）については受託単価の見直しにより2,789千円増の25,962千円となったほか、指定管理事業についても、人件費・業務委託料の単価見直しや除雪費用の追加補正により3,677千円・2.9%増の総額129,551千円となった。利用料金収入は、新庄市施設分は9,067千円で3,656千円・67.5%の増加となったが、県施設は2,854千円で▲179千円・5.8%の減収となり、利用料金総額では3,477千円・41.2%増の11,921千円となった。利用料金の増加は主にスキー場営業期間の影響によるところが大きい。また、自動販売機収入は2,341千円で144千円・6.5%の増加となった。

この結果、経常収益の増減は10,710千円・6.2%の増収となった。

〈経常費用〉

経常費用の主な内容で、まず人件費については、賃金の改定、決算期手当2.0月分のほか、スキー場通常営業による臨時職員賃金などにより8,266千円増の総額76,085千円となった。修繕維持費は、総額2,862千円で96千円増となった。燃料費は総額5,308千円で1,369千円の増となったが、スキー場で940千円、体育館で坂道の融雪分で622千円の増であった。委託費は、総額47,726千円で1,958千円増となったが、労務単価の見直しの影響が大きい。また、租税公課（消費税）については、昨年度より681千円増加した。

○当期末正味財産の額

資産合計 70,925 千円 (1,903 千円増) ①

内訳 流動資産 25,406 千円 (運転資金・未収金・前払金・普通預金)

固定資産 45,519 千円

(基本財産 15,000 千円・特定資産 29,919 千円・その他固定資産 600 千円)

負債合計 16,768 千円 (1,350 千円増) ②

内訳 流動負債 11,121 千円 (未払金・未払消費税・預かり金等)

固定負債 5,647 千円 (退職給付引当金)

正味財産期末残高=①-②=54,157 千円 (552 千円増)

○一般正味財産の増減額

・ 経常収益 A	183,667,358 円
・ 経常費用 B	182,910,371 円
[当期経常増減額] A - B = C	756,987 円
・ 経常外収益 D	0 円
・ 経常外費用 E	0 円
[当期経常外増減額] D - E = F	0 円
・ 当期法人税・住民税・事業税 G	204,800 円
[当期一般正味財産増減額] C + F - G	552,187 円

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
4111 基本財産受取利息	300	300	
特定資産運用益			
4121 特定資産受取利息	596	536	60
受取会費			
4143 賛助会員受取会費	134,000	196,000	△62,000
事業収益			
4151 自主的活動事業収益	737,600	668,500	69,100
4152 受託事業収益	25,961,548	23,172,693	2,788,855
4154 指定管理事業収益	129,551,000	125,874,000	3,677,000
4155 利用料金収益	11,921,089	8,443,932	3,477,157
4156 自動販売機等収益	2,341,228	2,197,492	143,736
受取補助金等			
4161 受取山形県補助金	10,000	10,000	
4162 新庄市補助金	10,900,000	10,900,000	
受取負担金			
4171 加盟団体負担金	255,000	255,000	
4172 スポーツ少年団登録料収入	605,800	645,900	△40,100
雑収益			
4191 受取利息	26,329	450	25,879
4193 雑収益	1,222,868	592,469	630,399
経常収益計	183,667,358	172,957,272	10,710,086
(2) 経常費用			
事業費			
5118 役員報酬	2,220,000	2,226,177	△6,177
5111 給料手当	31,029,328	28,118,942	2,910,386
5135 従業員賞与	9,380,300	8,505,400	874,900
5112 臨時雇用賃金	18,923,582	14,510,810	4,412,772
5113 退職給付費用	1,641,136	2,114,879	△473,743
5136 法定福利費	7,275,101	6,929,673	345,428
5114 福利厚生費	1,841,938	1,606,074	235,864
5115 旅費交通費	325,400	294,936	30,464
5116 通信運搬費	998,864	1,002,017	△3,153
5117 減価償却費	1,032,921	892,311	140,610
5119 消耗品費	5,664,945	6,741,670	△1,076,725
5120 修繕維持費	2,544,313	2,560,567	△16,254
5121 印刷製本費	733,645	668,085	65,560
5122 燃料費	5,307,654	3,938,848	1,368,806
5123 光熱水料費	24,126,229	23,964,548	161,681
5124 賃借料	2,837,341	2,986,903	△149,562
5125 保険料	1,526,153	1,594,840	△68,687
5126 諸謝金	816,000	955,000	△139,000
5127 租税公課	7,624,300	6,974,100	650,200
5128 支払負担金	1,892,474	1,901,770	△9,296
5137 報償費	229,622	182,210	47,412
5129 支払助成金	1,831,600	1,540,287	291,313
5131 委託費	47,120,787	45,239,632	1,881,155
5139 支払手数料	257,450	379,695	△122,245
5133 雑費	91,044	205,933	△114,889
管理費			

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
5141 役員報酬	300,000	300,000	
5142 給料手当	2,203,442	2,071,236	132,206
5140 従業員賞与	720,000	684,000	36,000
5143 退職給付費用		145,971	△145,971
5165 法定福利費	458,465	526,338	△67,873
5144 福利厚生費	91,939	80,170	11,769
5146 旅費交通費	287,431	279,811	7,620
5147 通信運搬費	93,585	83,979	9,606
5150 消耗品費	173,632	290,808	△117,176
5151 修繕維持費	317,487	204,600	112,887
5152 印刷製本費	60,500	35,475	25,025
5155 賃借料	2,710	2,470	240
5156 保険料	105,080	70,000	35,080
5158 租税公課	74,519	43,248	31,271
5159 支払負担金	33,000	56,584	△23,584
5167 支払手数料	91,454	71,874	19,580
5168 委託費	605,000	528,000	77,000
5162 雑費	20,000	20,000	
経常費用計	182,910,371	171,529,871	11,380,500
当期経常増減額	756,987	1,427,401	△670,414
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	756,987	1,427,401	△670,414
6111 法人税、住民税及び事業税	204,800	152,700	52,100
当期一般正味財産増減額	552,187	1,274,701	△722,514
一般正味財産期首残高	34,704,914	33,430,213	1,274,701
一般正味財産期末残高	35,257,101	34,704,914	552,187
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	18,900,000	18,900,000	
指定正味財産期末残高	18,900,000	18,900,000	
III 正味財産期末残高	54,157,101	53,604,914	552,187

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
0002 現金預金	24,600,406	22,297,371	2,303,035
1123 未収金	729,746	446,032	283,714
1124 前払金	76,284	80,024	△3,740
流動資産合計	25,406,436	22,823,427	2,583,009
2 固定資産			
(1) 基本財産			
1214 定期預金	15,000,000	15,000,000	
基本財産合計	15,000,000	15,000,000	
(2) 特定資産			
1311 退職給付引当資産	6,196,906	6,196,800	106
1314 スポーツ振興基金	6,849,454	6,849,337	117
1316 法人運営基金	16,872,444	16,872,156	288
特定資産合計	29,918,804	29,918,293	511
(3) その他固定資産			
1411 建物	3	3	
1412 構築物	9	9	
1413 車両運搬具	11,743	453,415	△441,672
1414 什器備品	578,161	817,410	△239,249
1422 投資有価証券	10,000	10,000	
その他固定資産合計	599,916	1,280,837	△680,921
固定資産合計	45,518,720	46,199,130	△680,410
資産の部合計	70,925,156	69,022,557	1,902,599
II 負債の部			
1 流動負債			
2112 未払金	8,510,816	8,895,767	△384,951
2113 未払法人税等	204,800	152,700	52,100
2122 未払消費税等	2,394,000	1,246,600	1,147,400
2114 前受金	11,080	159,960	△148,880
2115 預り金		128,393	△128,393
流動負債合計	11,120,696	10,583,420	537,276
2 固定負債			
2212 退職給付引当金	5,647,359	4,834,223	813,136
固定負債合計	5,647,359	4,834,223	813,136
負債の部合計	16,768,055	15,417,643	1,350,412
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
3112 地方公共団体補助金	3,900,000	3,900,000	
3118 寄付金	15,000,000	15,000,000	
指定正味財産合計	18,900,000	18,900,000	
0016 (うち基本財産への充当額)	(15,000,000)	(15,000,000)	()
0017 (うち特定資産への充当額)	(3,900,000)	(3,900,000)	()
2 一般正味財産			
0020 (うち特定資産への充当額)	(20,371,445)	(21,184,070)	(△812,625)
正味財産の部合計	54,157,101	53,604,914	552,187
負債及び正味財産合計	70,925,156	69,022,557	1,902,599

財務諸表に対する注記

注 単位はすべて円である。

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物 定額法
構築物・什器備品 定率法 ただし平成28年4月1日以後取得の構築物は定額法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 従業員に対する退職給付に備えるため、規程に基づく期末要支給額(中退共併用)を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

税込処理

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,000,000			15,000,000
小 計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,196,800	106		6,196,906
スポーツ振興基金	6,849,337	117		6,849,454
法人運営基金	16,872,156	288		16,872,444
小 計	29,918,293	511	0	29,918,804
合 計	44,918,293	511	0	44,918,804

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	15,000,000	(15,000,000)	(0)	-
小 計	15,000,000	(15,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	6,196,906		(549,547)	(5,647,359)
スポーツ振興基金	6,849,454	(2,600,000)	(4,249,454)	
法人運営基金	16,872,444	(1,300,000)	(15,572,444)	
小 計	29,918,804	(3,900,000)	(20,371,445)	(5,647,359)
合 計	44,918,804	(18,900,000)	(20,371,445)	(5,647,359)

4. 固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減損累計額	減価償却 累計額	当期末残高
その他の固定資産				
建物	51,366,710	7,154,491	44,212,216	3
構築物	353,710,820	7,554,265	346,156,546	9
車両運搬具	5,451,024	0	5,439,281	11,743
什器備品	7,239,708	0	6,661,547	578,161
合 計	417,768,262	14,708,756	402,469,590	589,916

5. 実施事業資産

(単位：円)

科 目	当期末残高			合 計
	スポーツの普及、 振興、指導者の育 成と選手育成に関 する事業	スポーツ行事の開 催、表彰及び各団 体組織の強化と補 助活動	スポーツ施設の管 理運営に関する事 業	
建物	0	0	3	3
構築物	0	0	9	9
什器備品	2	0	0	2
合 計	2	0	12	14

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
運営補助金	山形県	0	10,000	10,000	0	一般正味財産
運営補助金	新庄市	0	10,900,000	10,900,000	0	一般正味財産
指定運営補助金	新庄市	3,900,000	0	0	3,900,000	指定正味財産

附属明細表

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,834,223	813,136			5,647,359

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	摘 要	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金		運転資金として	215,628
普通預金	新庄信用金庫／本店	同上	24,384,778
未収金	佐藤総業(株)ほか	自販機借上料、電気料未収ほか	729,746
前払金	(公財)スポーツ安全協会	法人責任保険 令和7年度分ほか	76,284
流動資産合計			25,406,436
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	新庄信用金庫／本店	スポーツ振興事業に充てるため保有している	15,000,000
特定資産			
退職給付引当資産	新庄信用金庫／本店	従業員に対する退職給付に備えるため保有している	6,196,906
スポーツ振興基金	新庄信用金庫／本店	スポーツ振興事業に充てるため保有している	6,849,454
法人運営基金	新庄信用金庫／本店	財団の運営に充てるために保有している	16,872,444
その他の固定資産			
建物	管理棟ほか	サイクルスポーツセンター	3
構築物	競輪場走路補修代ほか	同上	9
車両運搬具	2トントラック	都市公園管理事業用ほか	11,743
什器備品	乗用草刈機、除雪機ほか	スポーツ振興及び指定管理事業に使用	578,161
投資有価証券	新庄信用金庫出資金		10,000
固定資産合計			45,518,720
資産合計			70,925,156
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	東北電力株式会社	電気料3月分	2,105,077
	日本年金機構	社会保険料 2,3月分	2,447,365
	従業員	3月給与日割り分及び時間外手当	107,217
	シルバー人材センターほか	業務委託料、燃料代など	3,851,157
未払法人税等	山形県、新庄市	県税、市民税	204,800
未払消費税等	新庄税務署	消費税等	2,394,000
前受金	施設利用者	利用料の翌年度対応分	11,080
流動負債合計			11,120,696
2. 固定負債			
退職給付引当金		従業員の退職支出に備えるための引当金	5,647,359
固定負債合計			5,647,359
負債合計			16,768,055
正味財産			54,157,101